

自分を見つめ、自分の将来に 夢を持とう

< 中学校 >

目的 自分を見つめ、理解し、自分の生き方や将来のことについて考える。
職業に対する視野を広げ、勤労の意味について考える。
職場体験や先輩方の生き方に学び、自分で進路を選択する力をつける。

気づく

14歳という年齢の意味を知ろう

これまでの14年間をふりかえってみる。
14歳は大人か子どもか考える。考えられる大人の部分と子どもの部分を出しあう。
3年生への進級に向けて、自分を見つめる。

法律上、責任が問われる年齢である。昔、一人前の成人としてあつかわれた年齢であることを知る。

広げる深める

身近な人の体験談から自分の将来のイメージをふくらませよう

地域の人から体験談を聞くことによって、より身近に職業について考えられるようにする。
職場体験学習を充実させるためにはどうすればいいか考える。

3～4の違う職種の方に依頼する。

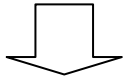
深める

地域の職場で勤労体験をしよう

- ・ お願い文を書く
- ・ お礼文を書く

自分が興味のある、関心の高い職種を選択し、何を学ぶのか明確にする。
勤労体験を経験し、そこで働く人々の仕事の苦労や喜びを感じ取る。
当日だけでなく、事前・事後でも自分たちが職場に足を運びつながりをもつ。
訪問施設の状況については事前に把握し、共通理解しておく。

訪問時のマナー
・ あいさつ
・ 返事
・ 接遇等
文章の書き方



計画する

現在の自分を見つめよう

～夢や目標をじっくり考え、作文として表現しよう～

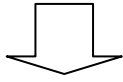
職場体験などのこれまでの学習をふまえ、将来の夢や自分の決意を文章に表す。

卒業生の先輩の実例も紹介する。

作成委員会が中心となって文集を作成する。

保護者や教職員にも原稿を依頼する。

文集作成
委員会



実践し、振り返る

<実践し振り返る>

『立志』式を成功させよう

～保護者・先輩を前に立志の誓いをする～

先輩から体験談・激励のことばをいただく。

これまでのまとめとして、『立志』式に取り組む。

厳粛な雰囲気の中で、自分の生き方を考え、実践につなげられるようにする。

これまでさまざまな人に支えられてきたことに気づく。

実行委員会
を組織する。
2年生の2
月頃に実施
保護者の激
励の言葉

【学習を進めるにあたって】

- ・『立志』とは14歳(数え年の15歳)を祝う、通過儀礼行事のこと。参加者は、人生の決意や目標などを明らかにする。
- ・地域の特色を生かし内容を構成していくことや人々とのつながりを大切にしたい取り組みとしたい。